

総合戦略の重要業績評価指標（KPI）

政策分野 ① 安定した雇用の創出

目標達成率の色付…70%以下の数値

<基本目標>

	指標	定義等	基準	基準値 (H30年度)	R1年度 (参考)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R6年度)	目標 達成率	▽KPI推移の考察(増減等の要因)と ▼今後の取組方針
P65 資料4-2	1人当たりの課税所得 ※総務省HP 市町村課税状況等の調	課税対象所得を納税義務者数(所得割)で除して算出したもの	各年	2,724千円	2,717千円	2,707千円	2,799千円	2,817千円	2,828千円	3,000千円	94%	▽課税対象所得金額は 前年比-0.49%、納税義務者数は 前年比-0.88%。 納税義務者の減少率よりも課税対象所得金額の減少率が抑えられたため微増となった。
P65 資料4-2	市内総生産 ※岩手県市町村経済計算	1年間に市の各産業の生産活動によって新たに生み出された価値(付加価値)の総額	各年	1,265億円 (H28年度)	1,342億円 (H29年度)	1,320億円 (H30年度)	1,350億円 (R元年度)	1,515億円 (R2年度)	1,328億円 (R3年度)	1,227億円 (R4年度)	108%	▽昨年度より金額が増加した6業種(林業(1.1%)、卸売・小売業(3.8%)、不動産業(0.21%)、専門・科学技術、業務支援サービス業(1.2%)、その他サービス(0.22%)を除いた11業種で減少。特にR1年度以降増加傾向にあり特に上昇幅が大きかった建設業が、三陸沿岸道路建設事業完了に伴い大きく減少(▲44.3%)。

施策1 地域資源を生かした産業の活性化

1-1 第1次産業の拡充

P66 資料4-2	①農産物系統販売額	JAIによる販売額(JAを通さないものは「系統外」)。卸売市場の入札によって販売価格が決定する	各年	24億5,176万円	24億7,121万円	22億7,673万円	22億7,107万円	22億7,035万円	23億3,474万円	24億1,000万円	97%	▽当地域における主要品目であるほうれんそうは、生産者の減少や昨年の猛暑により生産・販売額とも大きく減少。 ▽ピーマン、アスパラガス、ブロッコリー等の新たな作付けが始まり、栽培面積の増加が見込まれる。 ▼近年の気候条件にあった品目を生産する産地形成の取り組みを検討していく。
P66 資料4-2	②林業素材生産量	立木を伐倒、枝払い・玉切り、集材、巻立ることにより素材(丸太)に加工し、運搬・集積したもの	各年	43,533m ³ (H29年次)	49,442m ³ (H30年次)	59,598m ³ (R1年次)	48,358m ³ (R2年次)	57,513m ³ (R3年次)	48,587m ³ (R4年次)	51,000m ³ (R5年次)	95%	▽素材生産量は、概ね50,000m ³ で推移するものと思われる。 ▽前年より減少した理由として考えられるのは、全国的な住宅需要の低迷や燃料費の高騰など。 ▼森林経営管理制度の活用や、林業者への支援を通じ素材生産量の増加を図る。
P66 資料4-2	③久慈港水揚げ量	海面漁業、養殖業による水産物の第1次水揚げ量(船上加工品を含む)	各年	7,403t	7,112t	7,017t	4,393t	4,123t	4,999t	8,550t	58%	▽温暖化等による海洋環境の変化で全体として減少傾向となっている。 ▽R4からギンザケ養殖がスタートし、その分の水揚げが確保されている。 ▼ギンザケ養殖の規模拡大等に対する支援を行うことにより水揚げ量の増加を図る。

1-2 地域産業の育成

P67 資料4-2	④大学と企業の共同研究等の支援件数	久慈市内の企業と大学の共同研究件数	各年	0件	4件	3件	3件	4件	2件	2件	100%	▽3件の継続研究がR4年度で終了し、H30から継続している研究1件とR4年から継続している研究1件のみ。 ▼大学と市内企業の仲介を行い、産学官の連携に努める。
P67 資料4-2	⑤商品開発支援件数	久慈市と包括連携協定を結んでいる企業、大学等とともに久慈市のPR商品を開発した件数	各年	0件	5件	4件	11件	7件	6件	2件	300%	▽包括連携協定を締結した㈱八芳園との開発及び販売 4件 ▽実践女子大と連携した商品開発 2件

政策分野 ① 安定した雇用の創出

目標達成率の色付…70%以下の数値

施策2 雇用の場の創出

2-1 安定した雇用の場の創出

	指標	定義等	基準	基準値 (H30年度)	R1年度 (参考)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R6年度)	目標 達成率	▽KPI推移の考察(増減等の要因)と ▼今後の取組方針
P68 資料4-2	⑥久慈管内新規高卒者の管内就職率	-	各年	43.7%	42.8%	38.1%	49.2%	41.1%	46.9%	50.0%	94%	▽コロナの5類移行にも関わらず前年度に比べて高い管内就職率となった。令和6年3月卒業生が、キャリアオーケストラ及び社会体験WEEKを初めて経験した人達であったことも要因の一つと考える。 ▼キャリア教育などを通じて、久慈市内企業の魅力向上と情報発信に努めていく。

2-2 医療、介護福祉の需要増加に対応した労働力の確保

P68 資料4-2	⑦看護師奨学生地元就職者数	久慈市による奨学金の貸付を受け、卒業後、一定期間以上久慈市内の医療施設に看護師として勤務した者	累計	0人	2人	2人	3人	4人	5人	5人	100%	▽令和5年度は新たに2人が貸付終了、うち1人が地元で就職し5人となった。 ▼今後も事業を継続実施し、地元就職支援に取り組む。 R6卒予定:0 R7卒見込:3 R8卒見込:1 R9卒見込:1
--------------	---------------	-------------------------------------------------	----	----	----	----	----	----	----	----	------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策3 産業活動の担い手の確保

3-1 誰もが活躍できる就業・創業支援の充実

P69 資料4-2	⑧起業家数	久慈市内で新たに起業した件数	各年	6件	2件	3件	3件	2件	3件	5件	60%	▼創業支援等事業計画に基づき引き続き関係機関と連携して、起業家の掘り起こしに努める。
P69	⑨障がい者の実雇用率 ※岩手県労働局より	岩手県による地域(ハローワーク)別の障がい者雇用状況調査結果	各年	2.69%	2.64%	3.05%	2.81%	2.81%	2.87%	3.65%	79%	▼障害者の就労についての相談対応に加え、地域障害者自立支援協議会などの関係機関と連携し就労説明会、体験会、継続支援等を引き続き行っていく。

3-2 教育界と産業界が一体となったキャリア教育の推進

P70	⑩新規高卒就職者3年経過後の職場定着率	久慈管内の新規高卒者で、久慈管内企業に就職後、同じ職場に3年継続して在籍している者の割合	各年	68.3%	58.9%	70.3%	67.0%	72.8%	68.5%	70.0%	98%	▽雇用環境の変化により、若い人が転職について抵抗感が低くなっている状況であるものの、定着率は安定した数字となっている。 ▼引き続きジョブサポートデスクと連携しながら、市内企業に就職した者の定着に努める。
-----	---------------------	----------------------------------------------	----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

総合戦略の重要業績評価指標（KPI）

政策分野 ② 結婚・出産・子育てへの支援

<基本目標>

	指 標	定義等	基準	基準値 (H30年度)	R1年度 (参考)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R6年度)	目標 達成率	▽KPI推移の考察(増減等の要因)と ▼今後の取組方針
P71 資料4-2	出生数 ※岩手県保健福祉年報	1年間に久慈市内で生まれた子どもの数(10月1日～9月30日)	各年	223人 (H29年)	197人 (H30年)	172人 (R1年)	195人 (R2年)	166人 (R3年)	134人 (R4年)	219人 (R5年)	60%	▽未婚化・晩婚化の進展等の影響により減少傾向。 ▼今後も継続して出産・育児支援の充実に取り組む。

施策4 安心して子どもを産み育てることができる一貫した支援の充実と環境整備

4-1 安心して子どもを産み育てることができる支援の充実

P72 資料4-2	⑪1歳6カ月健診受診率	-	各年	96.6%	99.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.0%	102%	▽R2年度より100%で推移。
P72 資料4-2	⑫3歳児健診受診率	-	各年	98.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.8%	101%	▽R1年度より100%で推移。

4-2 子育て環境の整備の推進

P73 資料4-2	⑬子育て支援に関する満足度平均値	R5年度に実施した「市民満足度アンケート」における「子育て支援」に関する事業・取組に対する満足度の平均値(5段階評価)	各年	2.87	2.90	3.05	2.99	3.03	2.93	3.12	94%	▽満足度は減少傾向となっている。特に子育て世代の20代、30代の満足度平均値が低い。 ▽「産婦人科の増設」「子どもが集まれる場」「養育費の立て替え制度」を求める意見があがっている。
P73 資料4-2	⑭放課後児童クラブの定員数	久慈市内の学童保育所の定員数(各小学校区、学区限定なしあわせて10箇所)	各年	514人	512人	552人	552人	552人	552人	594人	93%	▼久慈湊小学校移転に伴う久慈湊学童保育所の移転や、放課後児童クラブ未設置の小学校区への設置について、地域のニーズを踏まえ継続して取り組む。
P73 資料4-2	⑮地域子育て拠点施設利用者数	久慈市内の子育て拠点2施設 ①子育て支援センター、②しあわせSUNつどいの広場 の利用者数(延べ人数)	各年	1,532人/月	1,448人/月	724人/月	875人/月	789人/月	1,063人/月	1,420人/月	75%	▽親子利用者はR4実績とほぼ同数だが、新型コロナ5類移行による中心市街地イベントの増加により、つどいの広場の一般利用者が増加(R4:1881人、R5:4935人)。親子利用者数はR4実績と同程度。

政策分野 ② 結婚・出産・子育てへの支援

施策5 結婚を希望する人々への支援の充実

	指 標	定義等	基準	基準値 (H30年度)	R1年度 (参考)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R6年度)	目標 達成率	▽KPI推移の考察(増減等の要因)と ▼今後の取組方針
P74 資料4-2	⑯成婚数	1月～12月の届出件数	各年	127組 (H29年)	122組 (H30年)	129組 (R元年)	90組 (R2年)	93組 (R3年)	85組 (R4年)	120組 (R5年)	71%	▼減少傾向。目標を達成するように結婚支援の取り組みを周知する。

施策6 「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒の育成

P74 資料4-2	⑰学習状況が良好な児童生徒の割合	数研式標準学力検査(教研式CR-T)による学習状況が良好と判断できる評定の割合	各年	小 86.0% 中 71.7%	小 86.3% 中 65.1%	小 90.4% 中 71.5%	小 87.4% 中 75.8%	小 83.8% 中 73.2%	小 83.3% 中 71.7%	小 90.0% 中 75.0%	93% 96%	▽小・中学校ともに課題が残る数値となった。 ▼指導主事訪問等を活用し、各校の授業改善や学力保障の取組について支援していく。 ▼学校公開や教育研究所の取組を通して、児童生徒主体の授業像の共有を図るとともに、標準学力検査(CRT)を実施し、分析を行っていく。
P74	⑱英語でコミュニケーションを取りたい児童生徒の割合	岩手県学習定着度状況調査児童生徒質問紙調査の質問項目に対し、肯定的回答をする児童生徒の割合	各年	小 70.0% 中 54.1%	小 67.0% 中 50.9%	小 68.9% 中 77.9%	小 70.1% 中 68.0%	小 76.5% 中 82.4%	小 74.7% 中 86.9%	小 75.0% 中 55.0%	99.6% 158%	▽小・中学校ともに直近5年間は増加傾向にあると言える。中でも中学校の増加が著しい。小学校からの外国語教育のつながりによって、苦手意識や抵抗感が減っていると考えられる。 ▼今後も、学習指導要領で求められる授業についての理解を深め、授業力向上を図る。
P74 資料4-2	⑲体力・運動能力が良好な児童生徒の割合	県体力・運動能力・運動習慣等の調査による、体力・運動能力が良好と判断できる評定の割合	各年	小 55.6% 中 59.8%	小 47.4% 中 56.8%	小 42.7% 中 44.4%	小 45.4% 中 64.6%	小 33.3% 中 45.5%	小 44.1% 中 54.3%	小 50.0% 中 58.0%	88% 94%	▽昨年度から大きく上昇した。コロナの5類への移行、運動の機会が増加が理由として考えられる。 ▼今後も、「60プラスプロジェクト」を通して、教育研究所で作成した市独自の入力シートの活用を広げながら、学校全体で運動に取り組む活動を推奨していく。
P74 資料4-2	⑳学びの場の満足度	岩手県学習定着度状況調査児童生徒質問紙調査の質問項目「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対し、肯定的回答をする児童生徒の割合	各年	小 88.9% 中 88.2%	小 84.1% 中 84.0%	小 85.8% 中 91.0%	小 87.1% 中 84.9%	小 89.4% 中 89.2%	小 89.2% 中 88.5%	小 89.0% 中 88.0%	100% 101%	▽小・中学校ともに目標値を上回った。先生方が安心・安全な環境づくりのために尽力した成果だと言える。 ▼児童生徒が自己存在感や充実感を感じられる「居場所づくり」と、主体的に取り組む協働的な活動を通して、児童生徒自らが絆を紡いでいく「絆づくり」を授業だけでなく、WEBQなどでも活用し、教育活動全体で展開していく。

総合戦略の重要業績評価指標（KPI）

政策分野 ③ 久慈市への人の流れづくり

<基本目標>

	指標	定義等	基準	基準値 (H30年度)	R1年度 (参考)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R6年度)	目標 達成率	▽KPI推移の考察(増減等の要因)と ▼今後の取組方針
P75 資料4-2	社会増減数 ※岩手県保健福祉年報	転入者数から転出者数を差し引いた数	各年	-266人	-295人	-247人	-408人	-316人	-308人	-63人	-	▽R2→R3は、例年に比べ大幅に転入者数が少なかった(705人(▲102))。 ▽R4→R5はそれを上回る転入者数の減少(671人(▲133)) ▽転出先は青森県、関東圏、盛岡市が多い。近年では野田村への転出の増加も見られる。 ▼引き続き地元就職率の向上とKターン者数の増加に向けて施策に力を入れていく。
P75 資料4-2	観光客数 ※岩手県観光統計	市町村別入込客数(延べ人数) 1月～12月の合計	各年	62万人 (H29年度)	63万人 (H30年度)	63万人 (R元年度)	30万人 (R2年度)	29万人 (R3年度)	40万人 (R4年度)	82万人 (R5年度)	49%	▽新型コロナウイルス感染症の影響が緩和された一方、「あまちゃん」目的の観光客が減少傾向にある。

施策7 若者・女性が住み続けたい、戻ってきたいと思える環境の整備

7-1 故郷の魅力を再確認するための取組の推進

P76 資料4-2	①移住相談件数	移住相談窓口における相談件数	各年	50件	51件	32件	26件	29件	195件	50件	390%	▽新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、イベント出展やオンライン相談を積極的に行ったことによる増加。 ▼オンライン相談に注力しつつ、移住相談窓口周知活動に努め、相談件数の増加を図る。
--------------	---------	----------------	----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	------	--------------------------------------------------------------------------------------------------

7-2 誰もが集える場所づくり

P76	②中心市街地における新規出店件数	「空き店舗出店補助金」を利用し中心市街地(駅前～やませ土風館)に新たに新出した店舗数	累計	16件	2件	3件	8件	10件	12件	20件	60%	▽年度ごとに継続して新規出店者が生じており、出店に係る補助制度の有効活用が行われている。 ▼制度を継続し、中心市街地への新規出店の促進を図る。
P76	③観光交流センター「風の館」利用者数	道の駅くじやませ土風館・風の館; 観光案内所、秋祭り山車展示、レストラン山海里、多目的ホール	各年	22万9,489人	20万3,584人	17万9,183人	16万0,383人	25万6,455人	25万7,822人	23万人	112%	▽道の駅いわて北三陸との連携事業の実施等により、市街地への回遊が見られ、市外から自動車を利用して訪れる来訪者が増加したと推測される。

施策8 関係人口の拡大及び移住促進・支援体制整備

8-1 関係人口の創出とつながりの強化

P77 資料4-2	④ふるさと納税リピート件数	今年度久慈市にふるさと納税をした人の中で、過去度にもふるさと納税をしたことがある人、もしくは今年度中に複数回ふるさと納税を行った人	各年	2,090件	3,835件	4,118件	3,902件	3,768件	5,748件	5,000件	115%	▽寄附のハードルを下げるため、これまでより寄附単価額が低いものを追加するなどした。 ▽新商品の開発と掲載を継続的にを行い、多くの納付件数を獲得した。
P77 資料4-2	⑤ふるさと大使及び公式ライン、Instagram登録者数(年度増加数)	ふるさと大使:久慈市を応援したい18歳以上の方で、久慈市に係る情報発信とPR活動を行う人(公募により決定される)	累計	125人	81人	18人	33人	58人	352人	480人	73%	▽LINEからInstagramへ移行し、発信内容も若者向けにフォーカスしたことによる増加。ふるさと大使への応募もコロナ禍以前程度に回復した。 ▼継続して周知活動に注力する。

政策分野 ③ 久慈市への人の流れづくり

8-2 移住促進に向けた支援体制の整備

	指 標	定義等	基準	基準値 (H30年度)	R1年度 (参考)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R6年度)	目標 達成率	▽KPI推移の考察(増減等の要因)と ▼今後の取組方針
P78 資料4-2	②行政関与による移住者数	久慈市の移住相談窓口を通じて移住、もしくは地域おこし協力隊となった者	各年	36世帯 40人	14世帯 16人	11世帯 16人	11世帯 11人	17世帯 24人	16世帯 17人	20世帯 25人	80% 68%	▽R4は大家族の移住があったため、大きく数が増えたが、R5は平年並みの実績となった。 ▼R6からは市独自の就労支援であるKターン若者雇用拡大奨励金制度が無くなるため、協力隊の応募者が増えるよう、WEBやSNSでの周知広報活動に努める。
P78	⑦移住定住促進事業補助金交付件数	-	累計	5件	1件	1件	1件	1件	1件	11件	9%	▽魅力的な物件がないことや制度の周知が十分ではなく交付に至らなかった。 ▽R5年8月から要件内容を変更。これまで「久慈管内以外」としていた対象者を「岩手県外」、対象物件を「空き家バンク登録物件」に限定する代わりに子育て加算(10万円)を追加した。 ▼空き家バンクの登録物件数の増加と制度周知に努める。

施策9 交流の機会等を活用した久慈の魅力発信

9-1 体験型観光の推進

P79 資料4-2	②自然体験等受入団体数	学校向け教育旅行、一般団体向け教育旅行のうち自然体験事業の受入件数	各年	49件	49件	42件	51件	39件	45件	64件	70%	▽受入件数、人数がコロナ禍以前の水準に戻りつつある。 ▼引き続き受入態勢の強化を図り、受入回数増に努める。
--------------	-------------	-----------------------------------	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----------------------------------------------------------

9-2 スポーツコンベンションの推進

P79 資料4-2	②久慈あまちゃんマラソン大会・三船十段杯争奪柔道大会参加者数	-	各年	2,357人	2,239人	0人	0人	728人	1,649人	2,300人	72%	▽新型コロナウイルス感染症の収まりや5類移行により大会を開催し、参加者が増加。 ▼早期の周知に努めることで参加者の増加を図り、生涯スポーツ社会の実現に取り組む。
--------------	--------------------------------	---	----	--------	--------	----	----	------	--------	--------	-----	-------------------------------------------------------------------------------------

9-3 観光客の受入体制及び情報発信力の強化

P80	①観光イベント入込数	みなと・さかなまつり、北限の海女フェスティバル、久慈秋まつり、北三陸くじ冬の市の合計	各年	91,400人	118,100人	2,300人	0人	22,000人	105,000人	95,000人	111%	▽北限の海女フェスティバル、久慈秋まつりの合計。みなと・さかなまつり、冬の市については未開催。
P80 資料4-2	①教育旅行等受入回数	学校対象の教育旅行、一般団体向け(ヘルスツーリズム含む)教育旅行受入回数	各年	66回	61回	44回	57回	43回	48回	75回	64%	▼引き続き新規メニューの開発に取り組みつつ、受入態勢の強化・受入回数増を図る。

総合戦略の重要業績評価指標（KPI）

政策分野 ④ 災害からの復興と安心・安全なまちづくり

<基本目標>

	指 標	定義等	基準	基準値 (H30年度)	R1年度 (参考)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R6年度)	目標 達成率	▽KPI推移の考察(増減等の要因)と ▼今後の取組方針
P81 資料4-2	市民満足度アンケート満足度平均値	4項目:「日本一の地域づくり」「安心・安全のまち」「マイバス・マイレール」「安心できる医療福祉」の4つに関する事業・取組	各年	2.84	2.81	2.99	2.90	2.89	2.84	3.14	90%	▽R2年度以降、4項目平均満足度が微減傾向。「医療福祉」関係の事業についてはすべての年代において満足度が低い状況が続いている。一方で「安心・安全のまち」関係の事業に対する満足度は高めにしている。 ▽「地域交通の充実」「運転免許返納後の交通手段」「医者不足」「水害対策」の改善を求める意見があった。

施策10 計画的なまちづくりの推進

P82 資料4-2	⑩中心市街地主要地点における歩行者・自転車交通量	市日のある平日、休日及び市日のない平日、休日について4日間、中町を除く6調査地点において中学生以上の歩行者(自転車を含む)通行数を8時～19時の間、1時間ごとに進行方向ごとに計測調査したもの	各年	5,514人/日	3,458人/日	3,187人/日	2,666人/日	2,604人/日	2,704人/日	5,764人	47%	▽新型コロナウイルス感染症の影響が緩和された一方、外出を必要最小限に留める風潮が市民に広がり、交通量(中町を除く)がコロナ禍以前の水準に戻っていないと推測される。 ▼核施設の誘客効果を波及する取り組みを強化し、回遊性の向上を図る。
--------------	--------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------	----	----------	----------	----------	----------	----------	----------	--------	-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策11 社会基盤の維持管理・更新と活用最適化

P83 資料4-2	⑪未利用財産の貸付利用・売却件数	久慈市の所有する未利用の土地等を一般(多くが法人)向けに貸付、売却しているもの	各年	19件	21件	19件	24件	27件	25件	19件	132%	▽2件の貸付期間満了による減。
--------------	------------------	-----------------------------------------	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----------------

施策12 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

12-1 地域医療体制の充実

P84	⑫奨学金養成医師の県立久慈病院での義務履行者数	岩手県国民健康保険団体連合会による奨学金を受けて修学後医師となり、県立久慈病院にて岩手県キャリア研修プログラム履行中の者	各年	1人	1人	2人	4人	0人	1人	1人	100%	▽負担金を拠出している市町村医師養成奨学金事業での配置人数。 ▽その他2事業(医療局奨学金貸付事業、岩手県医師修学資金貸付事業)での久慈医療圏配置人数は、8人。 ▼引き続き養成医師の配置について、関係機関に対し要望を継続する。
-----	-------------------------	--------------------------------------------------------------	----	----	----	----	----	----	----	----	------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

12-2 安心して生活できる環境の整備

P84	⑬要支援・要介護者認定率	認定:保険者である市町村の介護認定審査会において、市町村の認定調査員による心身の状況調査及び主治医意見書に基づくコンピュータ判定(一次判定)、介護認定審査会による二次判定により決定	各年	18.42%	18.63%	18.77%	18.80%	18.95%	19.18%	19.50%	102%	▽要介護(要支援)状態となる割合は加齢とともに高まるが、85歳以上の被保険者数が増加しているため、認定率も増加傾向。
-----	--------------	--------------------------------------------------------------------------------------------	----	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	------	------------------------------------------------------------

政策分野 ④ 災害からの復興と安心・安全なまちづくり

施策13 地域コミュニティの維持・再生

13-1 地域で支えあう体制づくり

	指 標	定義等	基準	基準値 (H30年度)	R1年度 (参考)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R6年度)	目標 達成率	▽KPI推移の考察(増減等の要因)と ▼今後の取組方針
P85 資料4-2	㉔ふれあいサロンの実施割合	ふれあいサロン…地域の中で近所同士が集まり、お茶飲んだりおしゃべりを楽しみながら交流する活動	各年	85.8%	78.3%	60.0%	60.0%	57.5%	62.5%	90.0%	69%	▽新型コロナウイルス感染症の5類移行後、実施箇所数が回復傾向。 ▼活動休止及び中止している団体に対する呼びかけや開催支援を行い、普及・推進の拡大を図る。
P85	㉕地域コミュニティ振興事業、コミュニティ活動備品整備事業の活用数	市民団体により地域で行われる祭り、イベント(スポーツ大会、盆踊り、音楽祭等)の開催及び用具・備品の整備等に対する補助金の利用件数	累計	31件	30件	20件	37件	60件	87件	170件	51%	▽地域コミュニティ振興事業22件(久慈地区8件、山形地区14件)、コミュニティ活動備品整備事業5件の増 ▽市HPでの周知を行った。町内会等より自己資金の捻出が難しいとの話もあり、実績は平年並みとなった。 ▼原資となる基金の枯渇時期も近づいているため、募集方法等の見直しを検討し、継続して支援を行えるよう取り組む。

13-2 地域文化の伝承と多様な人材の活躍の場づくり

P86	㉖地域おこし協力隊員数	活動中の隊員数	各年	2人	3人	3人	3人	9人	12人	3人	400%	▽5年度中は3人の増加、1人の脱退があった。 ▼協力隊は移住者実績の要であるため、予算をかけない又は特別交付税でまかなえる範囲で、WEB等での周知に努め、隊員数の増大を図る。
-----	-------------	---------	----	----	----	----	----	----	-----	----	------	--------------------------------------------------------------------------------------------

施策14 災害からの復興支援の充実及び災害に強いまちづくりの推進

P86 資料4-2	㉗自主防災組織率	全世帯数のうち、自主防災組織に加入した世帯の割合。市は結成届等の作成支援、自主防災組織結成・活動補助金の支援等を行っている	各年	45.3%	44.2%	46.6%	47.8%	64.0%	74.1%	64.0%	116%	▽新たに18団体が結成されたことから前年度より組織率が向上。 ▼引き続き、地域づくり振興課、各市民センターと連携を図り、市内全域において自主防災組織が結成されるようさらに取り組む。
--------------	----------	---------------------------------------------------------------	----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

施策15 再生可能エネルギーの整備や環境の保全・形成

P87 資料4-2	㉘固定価格買取制度における再生可能エネルギー発電設備の導入容量(12月末時点)	FIT導入申請数 ※固定価格買取制度(FIT制度)…電力会社に対し、再生可能エネルギーで発電した電気を一定期間買い取ることを義務付ける制度 2012年から導入 ※FIP制度…再エネ発電事業者が卸市場などで売電したとき、その売電価格に対して一定のプレミアム(補助額)を上乗せする制度 2022年4月から導入	累計	16,736kW (H31.3月時点)	26,420kW (R2.3月時点)	27,478kW (R3.3月時点)	28,240kW (R4.3月時点)	29,179kW (R5.3月時点)	29,577kW (R5.12月時点)	28,000kW	106%	▽固定価格買取制度の影響により増加傾向となっている。
--------------	-----------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	------------------------	----------	------	----------------------------

施策16 デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進

	指 標	定義等	基準	基準値 (R5年度)	R1年度 (参考)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R6年度)	目標 達成率	▽KPI推移の考察(増減等の要因)と ▼今後の取組方針
P88	㉙オンライン化された行政手続き数	-	累計	30手続き					30手続き	38手続き	79%	▽R5年度時点で30の手続きのオンライン化が完了している。 ▼R6年度においては追加8つ手続きがオンライン化される予定である。
P88	㉚オープンデータ項目数	行政が保有する公共データを、機械判読に適したデータ形式で二次利用できるルールで公開したもの	累計	14項目					14項目	14項目	100%	▽R5年度時点で14項目について公開が完了している。 ▼随時項目数の追加を行う。